

大谷大学公開講演会

2024年度テーマ「学び、続ける」

【同窓会支部総会・懇親会】

2024年8月29日(木)

15:00～17:00

【支部総会 17:00～・懇親会 18:30～】



講題

常に信の初一念に立つべし

※ 全て日本語での講演になります

講師

コンウェイ マイケル J.
准教授 (真宗学)



大谷大学 HP
教員紹介ページ

会場 真宗大谷派 札幌別院
三階 研修室

札幌市中央区南7条西8丁目
(アクセス) 札幌市市電

「東本願寺前」駅下車

参加費 講演会：入場無料

懇親会：5,000円

対象 同窓生・一般

問合せ 札幌支部・支部長 吉田敦史

電話：0123-36-8229

主催 大谷大学

大谷大学同窓会

札幌支部・夕張支部・岩見沢支部

Be Real
寄りそう知性



大谷大学

大谷大学同窓会 札幌支部・夕張支部・岩見沢支部

同窓会会員の皆様には後日改めてご案内状と申込みの書類を送付いたします



コンウェイ マイケル J. 准教授

講師略歴紹介・【専門 真宗学】

- 1976 (昭 51) 年 11 月 アメリカ合衆国イリノイ州生まれ
- 1997 (平 9) 年 9 月 ノースウェスタン大学卒業 (歴史学)
- ※ シカゴ仏教会にて初めて念仏の教えに触れる。
- 2005 (平 11) 年 9 月 大谷大学大学院修士課程修了 (真宗学)
- ※ 安富信哉教授に師事
- 2009 (平 21) 年 3 月 大谷大学大学博士課程満期退学
- 2011 (平 23) 年 3 月 大谷大学 博士 (文学) <学位取得>
- 2015 (平 27) 年 4 月 大谷大学 講師
- 2021 (令 3) 年 4 月 大谷大学 准教授

講演概要

学問にしても、信仰にしても、私たちには、一度、得た気づきに執着し、それが唯一の正しい答えであると思いつく傾向が強いようです。そのように過去の経験や着想に居直ると、目の前の事実が見えなくなってしまう危険性があります。

仏教の伝統において、私たちのこの問題が古くから指摘されて丁寧に考えられてきましたが、今回の講題は、大谷大学で長年教鞭をとっておられた曾我量深先生の若い頃に著された論考の題目から借りたお言葉です。私たちの救いの現在性を力説する曾我先生の言葉に触れつつ、参加者の皆さまと学び続ける大切さを確かめ直したいと思います。

【著書・論文】

『安楽集』における曇鸞教学の受用と展開—一行と信の展開を中心に— (『真宗教学研究』第 29 号)

「道綽教学における本願の思想」 (『大谷大学大学院研究紀要』第 25 号)

「道綽の回心に関する一考察—同朋の発見によって開かれた仏道—」 (『真宗研究』第 53 輯)

「善導教学の源泉としての『安楽集』—本願論と行業論を中心に—」 (『親鸞教学』第 97 号)

『教行信証』における親鸞の歴史観 (『大谷大学真宗総合研究所研究紀要』第 28 号)

「道綽の『安楽集』における末法教説の役割」

(『華嚴思想と浄土教—中村薫博士退任記念論集—』中村薫編)

その他 英語論文

1. 大谷大学・大谷大学同窓会では、毎年統一テーマを設定し、全国約 80 カ所で公開講演会を開催しています。
2. 天候等により、開催を中止する場合がございます。開催中止の場合は、同窓会ホームページでお知らせいたします。

大谷大学同窓会

検索

